

2019年10月27日

2019年度 学校関係者評価報告書

学校法人森ノ宮医療学園
森ノ宮医療学園専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価専門部会委員会

学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 自己点検・評価委員会 学校関係者評価専門部会委員会は、2018年度自己点検・自己評価報告書に基づき、以下のとおり学校関係者評価を実施いたしました。

1. 学校関係者評価専門部会委員（「森ノ宮医療学園専門学校 学校関係者評価に関する自己点検・評価委員会規程施行細則」による選出区分）

- ・鍼灸師または柔道整復師関連団体役員（同施行細則第4条第1項第2号）
 - 廣野 敏明 氏（公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会会長）
 - 川口 靖夫 氏（公益社団法人大阪府柔道整復師会副会長）
- ・本校卒業生（同施行細則第4条第1項第3号）
 - 赤丸 敏行 氏（森ノ宮医療学園専門学校卒業生）
- ・本校に在籍もしくは卒業した学生の保護者または保証人（同施行細則第4条第1項第4号）
 - 浜田 暁 氏（森ノ宮医療学園校友会会長）
- ・高等学校校長または高等学校校長経験者（同施行細則第4条第1項第5号）
 - 老田 準司 氏（元大阪府立高等学校校長）

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

- 開催日時：2019年10月26日（土）16時00分～17時30分
- 開催場所：森ノ宮医療学園専門学校 理事長室
- 出席委員：廣野敏明、川口靖夫、赤丸敏行、浜田暁、老田準司
- 欠席委員：なし
- 陪席者：清水尚道（校長）、松下美穂（鍼灸学科長）、伊黒浩二（柔道整復学科長）、矢納秀司（学務課長）

《基準1 教育理念・目的・育成人材等》

- ・教育理念等についてはしっかり定められている。
- ・鍼灸師、柔道整復師の養成校としてはトップレベルと言えるのではないかと。
- ・引き続き教育内容の一層の充実を期待している

《基準2 学校運営》

- ・規程についてはよく整備されている。改定があったものについてはグループウェアで教職

員に周知できている。

- ・グループウェアで閲覧情報の閲覧者がわかるようにしているのは情報共有の徹底という観点からも良いことだと思う。
- ・事業計画をかなり詳細な内容でホームページ上に公開できている。
- ・財務諸表もかなりの部分まで公開しているのは良いことではないか。
- ・人事考課については今後の充実にも期待したい。

《基準3 教育活動（鍼灸学科）》

- ・各学年で到達目標をしっかりと定めている。
- ・座学と実技授業、あるいは異なる学年間で連携を取ってカリキュラムを作成しているのは良いと思う。
- ・授業アンケートだけでなく、教職員同士で授業見学を行っている。
- ・若手教員の育成については今後とも期待している。
- ・東洋療法学校協会による実技審査でよい成績を得ている。
- ・今年の3年生は優秀とのことなので期待している。
- ・少し高めに目標を掲げてあげると学生もきちんと勉強してくるようだ。
- ・学生ごとに対応して指導できている。
- ・午前、昼間、夜間の3コースで同じ授業をしても学生による授業評価の結果は異なってくるのは大変だ。コースごとの特長もあるのだろうか。

《基準3 教育活動（柔道整復学科）》

- ・かつては国家試験の合格率が今一つだった時代があったが、いまではかなり良くなってきているのではないか。
- ・困難な面もあると思うが、医師や歯科医師との連携を深めてほしい。
- ・今後も業界および社会のニーズに合わせてほしい。
- ・外傷が治せるようであれば柔道整復師ではないという教育方針は堅持してほしい。トレーナーという言葉が先行してしまっている世の中の風潮があるが、貴校には柔道整復師という資格に対しての責任ある教育の継続を期待している。
- ・柔道整復師としてのやりがいをいかに伝えるかが大切だ。理想と現実のギャップを埋めつつ、職業にプライドを持ってもらえるようにしてほしい。
- ・進学するなら森ノ宮という流れを作してほしい。
- ・在校中は分からなくても卒業後に良い学校であったと思ってもらえる学校であってほしい。
- ・他校の卒業生からの入学に対する推薦や就職の求人が多いのはいいことだと思う。

《基準4 教育成果》

- ・保護者などの退学に対する拒否感が薄れてきている流れの中で、突然退学を申し出る学生が減ってきているのは評価できる。積極的な面談等により早めに問題の芽を摘むことができているのだろう。
- ・目的が曖昧なまま入学してきている学生も多いのかもしれないが、そのような学生に対し

て一定の指導は行えている。

- ・いかにして卒業してもらえるかという事への対策をしっかりと行っている。

《基準 5 学生支援》

- ・就職支援は行えているが、もともと社会人の入学生が多いので一律の支援というのは難しい面もあると感じる。
- ・就職支援担当部署に4名も配置できているのは良いと思う。
- ・単独でそれなりの規模の就職相談会を行えている。
- ・学生生活に関する相談を受けることのできる専任カウンセラーの設置をお願いしたい。
- ・資格を取得した以上はその業界で長く活躍してほしい。一層その環境を整えていただくことをお願いしたい。
- ・卒業後に年数を経た学生が業団のセミナーなどで開業の相談を行ったりする例もあるようだ。長い目で見た支援を期待したい。

《基準 6 教育環境》

- ・特にオープンキャンパス等の来校者からの学修環境や設備への評価は高い。

《基準 7 学生の募集と受け入れ》

- ・他校を卒業した方から本校を推薦していただき入学する例が増えているのはすばらしい。
- ・地方では特に本校に対する評価が高いのではないか。

《基準 8 財務》

- ・特に問題はない。

《基準 9 法令等の遵守》

- ・大阪府による定期指導調査で特に指摘がなかったのは良かった。

《基準 10 社会貢献》

- ・研修会などのための会場を提供しているのは評価できる。

以上